

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	

活動団体名：NPO法人大月地域資源活用協議会

活動地域：高知県幡多郡大月町

活動におけるテーマ

『複数のぼちぼち山業で豊かな生活スタイルをつくる』

活動団体および活動地域の紹介

活動地域の紹介

海、山、空、原色の風景を見にいこう

高知県の最西端、幡多郡「大月町」。海岸部を中心に足摺宇和海国立公園に指定されており、透きとおるように青く美しい海の色と色とりどりのサンゴ礁に出会える「柏島」をはじめ、「檜西海岸」や「大堂海岸」など海の絶景が私たちの自慢です。そして、海の色に映える緑鮮やかな山々と抜けるように青い空のコントラスト、まじりけのない“原色の風景”がここにあります。

東京から最も遠いエリアといわれる幡多地域にある大月町。だからこそ出会う手付かずの美しい風景、文化や食の魅力に触れに訪れてみませんか。

(大月町観光協会ウェブサイトより)



活動団体の紹介

NPO法人大月地域資源活用協議会では四国の西南端、大月町でこれまで「当たり前なもの」として見過ごされてきた地域の宝を探し、その恵みを次世代へ渡すために色々な取り組みを支えています。美しい海で楽しむクリアカヌー、観光ガイド、自伐型林業、へんろ古道活用、お遍路さんと地域住民との交流所「よっちみたや」、国際的な芸術文化交流など、お金に換算できない、統計には表れない「豊かさ」も伝えていこうとしています。



<https://www.orranc.com/>



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフ ミーティング					四国ブロック 中間共有会				全国 成果共有会
実施したこと							仲間集め・ヒアリング					
					活用雑木樹 林学習会	チェーンソー 安全講習	広葉樹学習会		マンダラ素案作成・更新			
			親子での自然体 験とアート活動	親子での自然体 験とアート活動	森のようちえん 運営勉強会	グリーンウッド* ワークWS	グリーンウッド* ワークWS	グリーンウッド* ワークWS			ステークホルダー ミーティング	グリーンウッド* ワークWS
									お茶 試作			

気づき①山業はおじさんだけじゃない！

この1年山林資源を活用した様々な活動を行ってきました。主に、事業のタネ検討のための講習会・勉強会、ワークショップの開催です。本当に人が集まるのか、初めてのチャレンジにドキドキしながらの広報活動。集まった人たちの世代や性別はばらばらですが、山林資源を活用したい人、というところは共通していました。アプローチの方法によって色んな層の人に関わってもらえることができると感じました。今後の広がりも期待できそうです。

気づき②みんなの、やりたい！という熱い気持ち

個別で話をしながら仲間集めをし、ようやく2月に関わってくれている皆さんを集めたミーティングを開催しました。普段世間話をする仲ですが、腹を割った深い話をしたことがなく、みなさんの抱えている課題や目標を聞けるか不安でした。しかし実際はミーティングの際、資源を活用した夢を語ったり、ミーティングが終わった後もこんなことできたらいいね、輪が広がりそうだね、と打ち明けてくれる人もおり、新しい事業のタネになりそうなものもぽつぽつと見えてきました。

気づき③少し先の仲間の姿が見えるような見えないような

今年度の活動は世間話程度で町外の人にも話しをしてきました。その中には仲間になってくれた人もいますが、遠巻きで見ている人たちの中にも私たちの活動を応援・面白がってくれる人が多くいることがわかりました。

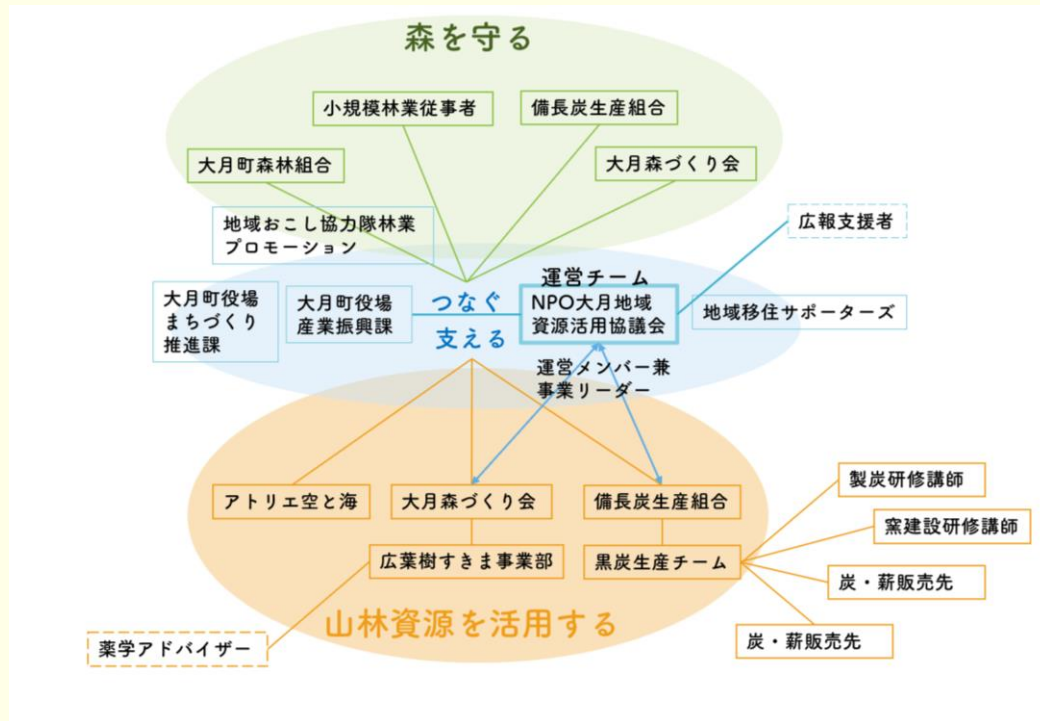
海がきれいな町大月町のイメージから、“最近少しだけ山に力を入れ出した大月町”の認識がじわじわと広がり、町外、県外、四国外、関西エリアetc…テレビCMのようにたくさん言い続けたら“山の生業もある大月町”と認知される日もやってきそうです。



現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

【現状の地域プラットフォーム】

今までそれぞれで活動していた団体は、つなぐ・支えるチームとの連携によって情報で繋がっています。研修に関する情報、団体に人手が足りないときなど、つなぐ役を通して必要な人・場所に情報が届く仕組みができつつあります。



【地域プラットフォームの変化】

1年以上前、「こんなことできたらいいよね」と理想を語っていた時のことを振り返ると、目標に向かっていろいろな人を巻き込みながら活発な活動ができました。

課題を抱えている人が集まり、話し合いから目標を立て、目標に向かって活動しているときに仲間を見つけ、取り組みの輪が徐々に広がってきました。

取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

● 運営チーム兼事業リーダー ●

今年度の活動を通して、事業として取り組みたいことがはっきり見えてきました。私たち運営チームの中には、それぞれの事業を導いていくリーダーがいます。そしてそれぞれのリーダーに専門知識があり、足りない部分は頼れる専門家とのコネクションがあることからステップを早く踏むことができました。運営チームメンバーが目標と課題をぶれることなく意識し、活動できたところが早いステップアップにつながっています。

● 仲間、担い手の発掘 ●

もちろんリーダーだけでは事業は成り立ちません。活動を通じて事業を担ってくれる仲間を見つけられたことは今年度の大きな成果です。

● 地元の人、巻き込めてる？ ●

町内で長く林業に携わっている人、山を持っているの地元の人に私たちの活動を十分に広げることができなかつたと感じます。

ぼちぼち山業で豊かな生活スタイルを作りたい、私たちの目標は田舎暮らしがしくてやってくる移住者にとって生活の一部となり得ます。巻き込んできた仲間もほとんどが移住者です。

山に手を加えず放置したらどうなるの？理想の山林ってどんな状態？小規模林業従事者、山主、環境それぞれにとってベターな方法を模索し、活動の輪を広げていくことが今後の課題です。

活動における今後の展望

チャレンジ①事業化に向けたさらなるステークホルダーの巻き込み

販路開拓・マーケティング・パッケージデザインetc…

事業の担い手や生産体制が見えてきたので販売に向けて、マーケティングや販路開拓を進めていきます。足りない知識は専門家を巻き込みながら、目標に向かって進んでいきます。

チャレンジ②自立に向けた活動

事業のタネそれぞれ規模が違うので合わせた動き方をします。

広葉樹すきま事業：小さくトライしPDCAを高速で回す。観光客でにぎわう時期を目標に町内で販売、反応を見ながら、県外の大月町に興味をもってきている人の目に留まるどころへ広げていきます。

黒炭・薪生産：R6年度団体立ち上げに向けて事業体の体制を整えます。担い手の窯の建設費獲得手段の検討・事務局の体制を整えます。すきま事業より大きな単位で動いているので、支える下地の準備を着実にいきます。

チャレンジ③認知向上のための情報発信

町内小中学校：未来の担い手育成を狙って山業のPR活動

山主：環境保全と経済性を両立した山を目指した活動紹介

町外移住希望者：生業のひとつとして検討してもらえようぼちぼち山業の生活スタイルを紹介

町内専業山師：活動の認知